

2020年12月15日

当院で冠動脈疾患（急性心筋梗塞、狭心症、無症候性心筋虚血）と診断され、各種治療を受けられた患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものです。研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みにになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出による不利益は一切ありません。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】 2000年1月～2026年12月までの間に、当院心臓血管内科にて冠動脈疾患（急性心筋梗塞、狭心症、無症候性心筋虚血）と診断され、各種治療（内服治療・冠血行再建[経皮的冠動脈インターベンション術、冠動脈バイパス術]）を受けられた方

【研究課題名】 冠動脈疾患患者に対する治療法の選択が長期予後に与える影響

【研究責任者】 国立循環器病研究センター 副院長・心臓血管内科冠疾患科・心臓血管系集中治療科 部長 野口暉夫

【研究の目的】 冠動脈疾患に対する適切な治療介入法を明らかにすることを目的としています。

【利用する診療情報】

（診療情報等）診断名、年齢、性別、身長、体重、入院日、既往歴、併存疾患名、家族歴、喫煙歴、血液（血算・コレステロール値・腎臓機能・糖尿病関連指標・心筋逸脱酵素）尿検査データ、便潜血、冠動脈造影所見を含めた画像診断（血管内超音波検査、光干渉断層計、スペクトロスコピー、MRI、核医学検査、CT）、冠血流予備能比、内服薬、冠動脈疾患に対する各種治療内容

【研究期間】 研究許可日より2052年12月31日までの間（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

この研究で得られた情報を将来、二次利用する可能性や研究計画書を変更する場合があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て、研究統括管理責任者の許可を受けて実施されます。二次利用する際に文書を公開する場合は、国立循環器病研究センター公式サイト (<http://www.ncvc.go.jp>) の「実施中の臨床研究」のページに掲載いたしません。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 心臓血管内科
冠疾患科・心臓血管系集中治療科 医長 浅海泰栄

電話 06-6170-1070(代表)